

浄化センターはかんきょうの土台

梅木 瑠唯

小郡市立 のぞみが丘小学校

わたしは、社会科見学で宝満川浄化センターに行きました。宝満川浄化センターは、建物から出るきたない水をきれいにして、その水をふたたび川に流す重要な役わりをしているしせつです。

わたしが宝満川浄化センターでびっくりしたことは二つあります。一つ目はかっせいおでいのことです。かっせいおでいは水の中にいて、よごれを分かいてくれるびせい物です。わたしは、水をきれいにするのにびせい物が水をきれいにすると全く思いつかなかったのので、この見学でびせい物が水をきれいにすると知ってびっくりしました。

二つ目は下水道のことです。下水道は建物で使ったきたない水をきれいに川に流すしせつです。雨水も流すそうです。下水道の水をきれいにする方法はまず、よごれた水に交ざったごみを取りのぞきまします。次に、取りのぞくことができなかつたよごれをびせい物が分かいます。最後に、その水を消どくしてから川に流します。わたしは、見学する前まではどうやって使い終わった水をきれいにするのかがよく分かりませんでした。けれども、ちゃんと水をきれいにする方法を知ることができてよかつたです。そして、最後にわたしが一番心にこつたことは、浄化センターに関わっている人達や関わっていた人達のことです。なぜならその人達がいなければ、水をきれいにすることができず、わたし達が使った後のよごれた水をそのまま川に流してし

まうからです。すると、川の水がよごれてしまいます。そうなるとその川に住んでいた生き物が川の中に住めなくなってしまいます。しかも、飲み水などを作るしせつが作る水が、もしかするとよごれを落とすきれなくて、わたし達が病気になってしまいかもしれません。なので、川の生き物やわたし達のためにも水をきれいにしてくれている人達のことが一番心にのこりました。

わたしは、社会科見学に行く前までは、わたし達が使い終わった水のことを考えたり、考えようとしませんでした。けれど、社会科見学に行つてからはかっせいおでいや、下水道のことや、水に関係のある人達のことを知りました。そのことを知つてから、水を使う時にわたしたちはそれらの人のことなどを考えながら水を使うようにしたいと思ひました。

生き物はふつうきれいな水がなければ生きていけません。例えば川の中にいる生き物もわたし達もきたない水では生きていけません。さらに、川の水がきたなくなるとかんきょうがこわれてしまいます。

つまり、浄化センターは生き物と川のかんきょうをせおっている重要なかんきょうの土台なのです。なので、これからはかんきょうや生き物のためにも水を大切にしていきたいです。